



血糖測定の2つの方法 ～SMBGとPOCT～

病院では、血液中の「血糖値」を測ることがあります。血糖値は、体の調子や治療の進み具合を知るためにとっても大切な数値になります。血糖値を測る方法としてSMBGとPOCTという方法があります。今回はSMBGとPOCTの2つの方法の違いについて解説していきます。

・ SMBGとは

ご自宅などで患者さんご自身が血糖値を測る方法です。毎日の体調の変化や血糖の変化を知り、治療や生活管理に役立てています。

・ POCTとは

病院で、医師や看護師などの医療従事者が血糖値を測る方法です。診察や治療方針を決めるため、その場ですぐに行います。

SMBGとPOCTの違いを表にまとめみるとこのような違いがあります。

項目	✓ SMBG (ご自宅で測定)	✓ POCT(病院内で測定)
主体	✓ 患者さん自身で測定	✓ 医療従事者が測定
場所	✓ ご自宅や外出先で使用可能	✓ 処置室や病棟で行う
目的	✓ 食事や運動、お薬の影響を確認する	✓ 治療方針を決めるための検査
機会	✓ 家庭用の血糖測定器を使う	✓ 病院専用の測定器を使う
精度	✓ POCTより低い傾向(簡易的)	✓ 高精度で迅速、安全性が高い

ご自宅で測った血糖値であっても、外来などで測り直す場合があります。これは、診察時の状態を正確に確認するためや、より安全で適切に治療を行うために必要な検査になります。異常があるわけでもご自宅での測定が間違っているわけではないのでご安心ください。

それぞれ目的は違いますが、SMBGとPOCTどちらも患者さんの健康を守るために行う、大切な検査となっております。不安や分からないことがあれば、医療スタッフまで遠慮せずお声がけください。

<編集後記>

寒い日がまだまだ続きます。
温かくして過ごしましょう！



発行元：市立三次中央病院
糖尿病療養指導チーム
文責：臨床検査技師（今井）